

美しい汽水湖を未来へ 中海・宍道湖一斉清掃



宍道湖一斉清掃（湖遊館付近）

6月8日、ラムサール条約の登録湿地である「中海・宍道湖」の一斉清掃を行いました。当日は、小雨が降る中でしたが、市内から、宍道湖西岸の清掃に2,014人の方に参加いただき、収集したごみの量は、2.98トンありました。また、島根県から鳥取県にまたがる中海・宍道湖全体での参加者数は、7,544人、収集したごみの量は、14.07トンありました。

ふるさとの貴重な財産である「中海・宍道湖」の自然環境を守り、後世に引き継いでいくため、今後とも、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

モリアオガエルの産卵数を調査

6月18日、モリアオガエルの産卵数調査を市内で最大の生息地である多伎町の7つの池で行いました。この調査は、県の準絶滅危惧種に指定されている貴重なモリアオガエルの生息地を保護することを目的として、1983年(昭和58年)から続けています。

今年度の卵塊数は464個と2001年(平成13年)からの調査での平均値(718個)を下回る結果となりました。しかし、生まれたての白い卵塊よりも、約1週間経過した黄色またはしぼんでいる卵塊が多かったことや、池の中に大量のモリアオガエルのおたまじゃくしを見ることができたため、産卵のピークは約1週間前だったのではないかと推測されます。モリアオガエルの生息地として卵塊が驚くほど減少しているとはいえず、心配するほどではないですが、モリアオガエルの繁殖地は年々減少し、全国的にも貴重であることから繁殖地をみなさんも守っていきましょう。



モリアオガエル



モリアオガエルの卵

身近な明りを消して、地球温暖化について考えよう



扇子を配る協議会委員の皆さん

「CO₂(二酸化炭素)削減／ライトダウンキャンペーン」が、6月21日から始まるのを前に、出雲市省エネルギービジョン推進協議会(委員長 曾我部國久さん)では、6月20日、市内ショッピングセンターで啓発活動を行いました。

この日は、協議会の委員が、過度なエアコンを控えて、夏場を「エコ」に過ごしてもらうために用意した扇子を来店者に配り、ライトダウンと省エネを呼び掛けました。

環境省が2003年から呼び掛けているこのキャンペーンは、6月21日[夏至]から7月7日[クールアース・デー、七夕]の間に、ライトアップ施設や家庭での照明を消すことで地球温暖化防止を考えるきっかけにするものです。皆さんも省エネ・節電にご協力をお願いします。



木綿街道振興会 国土交通大臣賞受賞 - 「住まいのまちなみコンクール」 -

身近な住環境を維持管理し、安全性や緑化、街並みを保持している住民組織を、まちづくりのモデルとして顕彰する2013年度の「住まいのまちなみコンクール」で、平田町の「木綿街道振興会(会長 高橋猛さん 会員32名)」が、最高賞に当たる国土交通大臣賞を受賞されました。

受賞された木綿街道振興会は、2004年に設立され、江戸時代から明治時代にかけて木綿の集積地として栄え、歴史的な町並みが残る全長約400mの木綿街道沿いの環境・景観保全活動など、住民が一体となって取り組む姿勢が高く評価され、今回の受賞となりました。



「木綿街道」のイベントの様子(平田町)



人口：174,547人
男性：84,279人
女性：90,268人
世帯数：61,385世帯

[平成26年6月30日現在]

8月の市税・保険料の納期限

市県民税(第2期)、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料(第2期)、介護保険料(第3期)の納期限は **9月1日(月)**です。

期限までに忘れずに納めましょう。